

競技実施要領

1 競技規則

令和3年度版 全国障害者スポーツ大会競技規則によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 チーム

- (1) チーム編成は、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手12名以内とする。
- (2) チームは、男女混合とする。
- (3) オープン参加・個人参加は、今回に限りなしとする。(コロナ対策の観点から)

3 競技方法

- (1) 試合は、基本的に総当たり戦で行うが、参加チーム数によりリンク戦、リーグ戦のいずれかで行うものとする。また、順位は勝敗数、セット率、得失点により決定する。
- (2) ネットの高さは、2m24cmとする。
- (3) 試合は3セットマッチとする。各セットは25点のラリーポイント制とし、2セット先取したチームの勝ちとする。なお、得点が「24対24」の同点になった場合、それ以降は、2点リードしたチームをそのセットの勝者とする。第3セットは、25点制で行い、コートチェンジはいずれかのチームが13点を先取したときに行う。
- (4) 競技は、追込方式を採用し、直前試合終了の15分後にプロトコールを開始する。但し、連続試合となる場合は試合終了の20分後にプロトコールを開始する。
- (5) 試合は男女混合とし、試合中は少なくとも1名以上の女性選手が出場してなければならない。女性選手が出場不可能となった場合、その時点でゲーム終了とし不戦敗となる。
- (6) その他、監督会議で申し合わせ事項を設けることができる。

4 競技者の服装

- (1) チームユニフォームの着用は任意とするが、スポーツ活動に適したものを着用し背番号がはっきり見えるようにすること。背番号は1番から12番までが望ましい。また、背番号は、ビブス等の着用による代用も認めるが、選手の背番号は固定する。
- (2) リベロプレーヤーを登録する場合は、リベロプレーヤーは他の競技者と区別する色のユニフォーム（もしくはビブス）を着用すること。
- (3) 監督、コーチ、マネージャーは、規定のマークを左胸部につけること。なお、未着用の場合は、チームベンチへ入る事を制限する事がある。

5 試合球

日本ソフトバレーボール連盟公認球ソフトバレーボール球・糸巻きタイプ（モルテン製円周 $78\pm 1\text{cm}$ 、重量 $210\pm 10\text{g}$ ）を用いる。

6 競技上の注意

- (1) ボールは、複数個用意し、ワンプレーごと消毒した状態で交換します。

- (2) 試合中、試合を妨げたり遅らせたりしない限り、監督だけが自分のチーム前のフリーゾーン（ウォームアップエリア）で立ち上がったり、歩いてコート上の選手に指示を出すことができる。但し、ラリー中はベンチに座ること。
- (3) 試合中、ボールの交換を要求する場合は、選手が副審あるいは主審に申し出ること。
- (4) 審判の判定に関しての度重なるアペールは、警告の対象である。選手はもちろん、ベンチ役員の言動にも注意すること。
- (5) コート内には、監督、コーチ、マネージャー、及び選手以外は入場することができない。但し、緊急を要する場合に限り、主催者の判断により入場を認める事もある。

7 組合せ

組合せは、10月20日（水）に主催者が代理抽選の上決定し各チーム宛に通知する。なお、出場チーム数によって競技方法を決定し、組み合わせ結果とともに出場申込チーム宛てに通知する。

8 その他

- (1) プロトコール制を採用する。
- (2) クイック・サブスティチューションを採用する。
- (3) 監督は、試合中ベンチの記録席に一番近いところに位置しなければならない。
- (4) タイムアウトは、監督がベンチから立ち上がって、コールしながらハンド・シグナルを明確にして要求すること。
- (5) 試合終了後は、両チームの選手全員がエンドラインに整列して一礼する。一礼後、両チームのチームキャプテンは、記録用紙に試合終了確認のサインをすること。

9 新型コロナウイルス感染拡大防止について（競技中における注意事項）

- (1) 試合前後の握手は一礼で代替える。
- (2) 試合前円陣やベンチでの集合時、できるだけ密集・接触をさける。
- (3) 競技中のハイタッチ、握手等はできるだけ控える。
- (4) ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える。
- (5) ベンチでは間隔を空けて座る。また、コートチェンジの際にベンチ消毒を行う。
- (6) タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用禁止。
- (7) 本大会は無観客で行う。